

太地町捕鯨歴史文化財

和歌山県／太地町



狼煙場跡



燈明崎



漂流人記念碑



捕鯨船資料館



くじら供養碑



くじらの博物館

- ①捕鯨船資料館:昭和31年に建造された大型捕鯨船第十一京丸は、昭和52年までの大型鯨を追って南氷洋、北氷洋に活躍し、国際捕鯨オリンピックで優勝した輝かしい歴史を持つ捕鯨船。この捕鯨船を昭和54年に資料館として陸揚展示したもの。
- ②くじらの博物館:昭和44年完成。世界一のスケールを誇るくじらの博物館。鯨の生態に関する資料や捕鯨資料など、1,000点におよぶ貴重な資料を展示している。
- ③漂流人記念碑:明治11年12月24日、太地古式捕鯨史上最悪の遭難事故であり、110余名の死者を出す大惨事がおこった。この痛ましい出来事は、太地町の捕鯨の歴史上決して忘れられない事である。
- ④燈明崎:古式捕鯨時代、最も重要な場所で、狼煙場跡・支度部屋跡等があり、太地町で初めて鯨油を用いた行灯式燈明台の出来た場所でもある。
- ⑤梶取崎:名前の通り、熊野灘を航行する帆船が江戸に進路を変えるため目標にした岬であり、狼煙場跡や、くじら供養碑がある。

TOPICS

- ・鯨供養祭 4月29日 開催
- ・盆供養花火大会 8月14日 開催
- ・くじら祭 11月第1日曜日 開催

お問い合わせ先

太地町役場 産業建設課

●TEL／0735-59-2335

●URL／<http://www.town.taiji.wakayama.jp/>

【交通】

●バス／JR太地駅から町営循環バス

